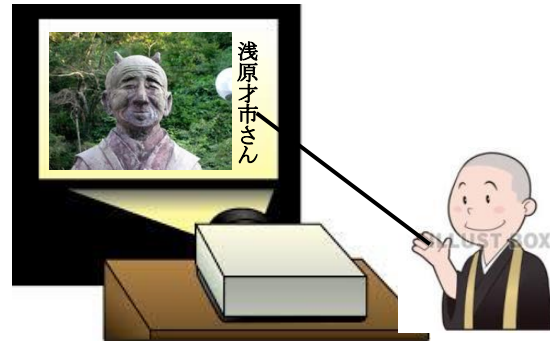


あんのん
世のなか安穩なれ
仏法広まれ



「善通寺盆法要」のお参りをご縁に 親鸞聖人が示された「浄土真宗」という
真実なる教えを映像と共に味わってみませんか。

「盆法要」3 日目のテーマは、

【 (1) 「妙好人」 (2) 親鸞聖人のエピソード (3) 「人間の善悪」 】です。

パワーポイントを利用しながら、ご法義を学んでいきます。写真や映像、音声を交えて進めますので、興味深く、
楽しみながら味わって頂けると思います。

〔善通寺盆法要 令和三年八月十三日～十五日〕



親鸞聖人 (鏡御影)

9:00

◆篤信の念仏者のことを褒め称えていう「妙好人」とは、どんな人のことか？

「妙好人」は、白蓮華という極楽の池に咲く白い花にも譬えられます。白蓮華は全ての花の中の王ともいうべき
もので、もっとも美しく、愛好され、尊重される華であり、念仏の法に遇う人の最高の讃辞と云われています。そ
こで、今回は、妙好人として今も温泉津町(島根県)に伝承されている「浅原才市さん」の人となりを探ねてみます。



実物の浅原才市さん

「角ある浅原才市」の肖像画



11:00

◆安芸の地に今も残る親鸞聖人のエピソードとは？

親鸞聖人は 90 年のご生涯の中で安芸の地に具体的な足跡を残されていません。しかし、人間の犯した悲
しき過ちに今も警鐘を鳴らし続けているお姿を残されました。それはどのようなことなのでしょう。八月十五日
という終戦記念日にあたるこの日に、そのことを味わってみませんか？



広島別院に到着した親鸞聖人像 (昭和 12 年)

13:00

◆親鸞聖人が示された「人間の善悪」とはどのようなものなのでしょうか？

親鸞聖人在世の時代に比べますと、現代社会は科学技術が飛躍的に進歩した時代であり、その結果、
私達は、物質的に豊かで快適な生活を享受しているように思っています。しかし、私達の科学的な歩み、
科学による快適な生活は、全てが正しい歩みだったのでしょうか。聖徳太子を和国の教主と尊敬され、太
子のお心を頂きながら示された親鸞聖人のお言葉をもとに考えてみましょう。

捨身飼虎図
「玉虫厨子」
法隆寺



聖徳太子

善通寺 (浄土真宗本願寺派)

広島市南区南蟹屋 1-6-11

tel 082-281-2779

(講師) 佐々木敏夫師 (釈誠叡)



八月十五日(日)